

分科会Ⅲ

国際競争力強化のための知財戦略

主査 野間口 有

三菱電機株式会社 取締役会長
社団法人 日本経済団体連合会
評議員会 副議長
知的財産委員会 委員長
日本知的財産協会 会長

国際競争力強化のための知財戦略

主査

野間口 有

三菱電機株式会社 取締役会長
社団法人 日本経済団体連合会
評議員会副議長 知的財産委員会委員長
日本知的財産協会 会長

パネリスト

松見 芳男

伊藤忠商事株式会社 顧問 伊藤忠先端技術戦略研究所長

村口 和孝

日本テクノロジーベンチャーズパートナーズ投資事業組合
代表 / ゼネラルパートナー

寺西 豊

京都大学教授「医学領域」産学連携推進機構 副機構長

羽鳥 賢一

慶應義塾大学 教授 知的資産センター所長

松田 岩夫

参議院議員 (元科学技術政策担当大臣)

林 いづみ

弁護士 永代総合法律事務所
工業所有権審議会委員

総評

相澤 益男

総合科学技術会議議員

コメンテータ

田口 康

文部科学省 研究振興局研究環境・産業連携課 課長

吉澤 雅隆

経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進課 課長

瀧内 健夫

特許庁 総務部企画調査課 知的財産活用企画調整官

問題提起

- 国際競争力強化のための
知財戦略のあり方は？
- そのためには
産学官連携はどうあるべきか

討論

- ✓ 論点1.
イノベーションとグローバル知財の創出
- ✓ 論点2.
知財活動の地域・国際展開
- ✓ 論点3.
知財人材について

主な意見 1 イノベーションとグローバル知財の創出

- 知的創造領域ロードマップの導入が急務
- 学術論文発表と特許出願(出願まで秘匿)の矛盾する課題のマネジメントが必要
- 研究活動の上流から、研究テーマ全体の特許マップや将来の活用を意識したポートフォリオ形成を含めてサポートすることが必要
- オープンイノベーションによる産学官連携の相乗効果を期待

主な意見 2

知財活動の地域・国際展開

- 産学官連携の成果活用では、研究者、資本提供者、弁理士・弁護士、経営者の四者(研・資・弁・経)の連携協力が重要
- 大学知財は短期間での技術移転が困難なため、橋渡し機能の充実や5～10年のレンジで持続的に活動可能なベンチャーの育成が重要
- 国際競争力の高い研究ほど、海外での権利取得が必要だが、海外出願費用等の確保に公的支援が重要
- 知財の出口として国際標準への対応も重要であり、パテントプールなどでの知財の活用も重要

主な意見 3

知財人材について

- 個人型ベンチャーキャピタリストの育成が必要
- 大学と民間企業の橋渡しをするベンチャー企業及びそれに関わる人材の育成支援が必要
- 産学連携・知財戦略を策定可能な人材の層を厚くすることが必要
- 日本の強みと弱みを見極められる国際的リーダー人材の育成が必要

問題提起に対するまとめ

—国際競争力強化のための 知財戦略のあり方は？—

- 学官においても**事業への活用**を含めた出口戦略が必要
- **日本の強みと弱み**を見極めたリーダーシップが、産学官いずれにおいても必要
- **地域と国際は表裏一体**、各地域での知財創出により国際展開に繋げるべき
- **オープンイノベーション**や**標準化普及**と**知財保護のバランス**をとった推進が必要

問題提起に対するまとめ

—そのためには
産学官連携はどうあるべきか—

- 産学官の組織連携に加え、**研・資・弁・経**という役割**連携**も重要
- 研究開発戦略と知財戦略の両面からの**プロデュース機能**が必要
- 研究開発と事業化のベンチャーによる**橋渡し機能**も強化し、連携をスムーズにすべき